

2025 年 12 月 17 日

株式会社ジェーシービー
日本アイ・ビー・エム株式会社

JCB、日本 IBM と AI パートナシップを締結 生成 AI で基幹システム開発を革新

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：二重孝好、以下「JCB」）は、日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口 明夫、以下「日本 IBM」）と、AI パートナシップを締結しました。本パートナーシップは、日本 IBM が持つコンサルティング力やテクノロジー・知見を活用し、JCB のシステム分野での AI による変革を実現することを目的としています。

■ 提携の背景と目的

JCB は、金融業界における競争力強化と新たな価値創出を目指し、AI を駆使してシステム開発における設計から運用までの全工程で開発生産性改革に取り組んでいます。

JCB と日本 IBM は、本提携により、AI を「開発の共同パートナー」として位置づけ、品質・スピード・コストのすべてで効率化を追求していきます。さらに、日本 IBM の先進テクノロジーを活用し、次世代の IT 開発モデルを確立していきます。

■ 生成 AI による IT 開発革新

JCB は、国内外の主要業務を支える複数基幹システムにおいて、日本 IBM の生成 AI 技術「watsonx」を活用した IT 開発に本格的に取り組んでいます。

設計から開発、テストに至るまでの全工程に生成 AI を組み込み、従来の人手中心の開発スタイルを根本から見直すことで、生産性向上と効率化を推進しています。

具体的なユースケース

- 外部設計書を活用し、高精度なプログラム設計書・COBOL コードを生成
- 単体テストケースの網羅的生成に加え、基幹システムの品質要求に耐えうるブラックボックス観点でのテストケース補強を実装
- 500 を超える提携先ごとの I/F 仕様や業界規制に準拠したテストデータを自動生成

これらの取り組みにより、一部システムでは設計～テスト工程において約 20% の開発効率化を達成しています。

■ 今後の展望

JCB は日本 IBM と共に、生成 AI を活用した開発革新を次期システム更改や他システム開発まで拡張するとともに、自然言語による要件定義やコードレビューなど、より高度な AI 活用を目指します。そして金融 IT 開発の未来創造に取り組んでまいります。

株式会社ジェーシービーについて

日本発唯一の国際カードブランドを運営する企業として、JCB カードを利用できる加盟店ネットワークを展開するとともに、アジアを中心に国内外のパートナー企業と JCB カードの発行を拡大しています。また、総合決済サービス企業の実現をめざし、お客様やパートナー企業の皆様の期待にお応えする様々な事業を展開しています。<https://www.global.jcb/ja/>

日本アイ・ビー・エム株式会社について

日本 IBM は、世界 175 カ国以上でビジネスを展開する IBM コーポレーションの日本法人で、基礎研究をはじめ、ビジネス・コンサルティングから、IT システムの構築、保守まで一貫したサービスの提供を通じて、お客様の企業変革やデジタル・トランスフォーメーションを支援しています。詳細については、<https://www.ibm.com/jp-ja/>をご参照ください。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>(US)をご覧ください。